令和 7 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

まちづくり目標	ともにつくるまち	政策名	市民が主人公のまちづくり
施策No.	1	施策名	市民参画・協働の推進
主管課名	地域協働課		
関係課名	企画政策課、総務課、市民課		

10年後の目指す姿	市民が主役となったまちづくりが進められています。

施策の現状及び課題	現　状	・多様化する地域のニーズを市民自らが解決できるよう地域のリーダーの育成支援に取り組んでいます。 ・市内13地区の地域振興会を中心に協働体制の強靭化と地域の活性化に取り組んでいます。 ・人権の尊重と、平和に対する意識向上に努めています。
	課　題	・市民一人一人が市政運営に参画する意識の高揚と広い分野への参加の促進に取り組むとともに、地域のリーダーの発掘、育成が求められています。 ・地域課題解決のため、地域振興会を中心とした地域づくりと、市民としての役割を自覚するとともに、あらゆる分野における男女共同参画意識の啓発を行うことが必要です。 ・市民が人権尊重の理念を正しく理解し、他人への思いやりの心を育むとともに、平和に対する意識を高める必要があります。

施策を進めるための役割分担	行　政	・市民が主役となって活躍できる環境を整えます。 ・地域の課題解決に自ら取り組む各種団体の支援と、男女共同参画社会の実現を推進します。 ・人権の尊重と恒久平和のため、人権擁護と非核・平和事業を推進します。
	市　民 ・ 事業所	・世代を問わず、お互いに助け合い、地域の課題解決に主体的に取り組みます。 ・自らの長所を活かせる地域活動への積極的な参加と男女共同参画の目的を理解し実践します。 ・人権の大切さを理解し、平和な社会の一員となります。

目指す姿の実現のための取組（基本事業）	基本事業①	市民参画の環境づくり
	基本事業②	市民協働活動・男女共同参画の推進
	基本事業③	人権の尊重と非核・平和
	基本事業④	

	区　分	単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
施策のトータルコスト	A. 本施策を構成する事務事業の数	本	16 (14)	17 (14)	17 (14)	17 (13)	16 (13)	
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本	7 (5)	8 (5)	9 (6)	9 (5)	8 (5)	
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本	7 (7)	7 (7)	6 (6)	6 (6)	6 (6)	
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本						
	B. 事業費 （事務事業の事業費合計）	千円	168,623	198,034	197,636	359,415	422,291	
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	140,088	152,313	139,306	183,356	193,231	
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	28,209	44,815	58,009	175,733	228,337	
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	326	906	321	326	723	
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円						
	C. 施策に携わる正規職員数合計	人	32	44	52	66	58	
	D. 事務事業に要する年間総時間	時間	12,100	12,070	12,650	15,100	15,900	
	E. 人件費 （D×1時間あたりの平均人件費）	千円	47,468	46,783	50,043	61,970	67,623	
	F. トータルコスト （B＋E）	千円	216,091	244,817	247,679	421,385	489,914	
効率性指標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費 （定義式 ： B／人口 ）	円	4,166	4,961	5,032	9,307	11,111	
	同　上 H. 人件費 （定義式 ： E／人口 ）	円	1,173	1,172	1,274	1,605	1,779	
	同　上 I. トータルコスト （定義式 ： F／人口 ）	円	5,339	6,133	6,306	10,912	12,891	
参　考	1時間あたりの平均人件費	円	3,923	3,876	3,956	4,104	4,253	
	魚津市の人口（各年度12月末時点）	人	40,477	39,919	39,274	38,617	38,005	

基本事業概要シート①

施策No.	1	施策名	市民参画・協働の推進
基本事業名		①市民参画の環境づくり	
基本事業の目的(意図)		市民自治の一層の進展のために、市民・議会・行政がそれぞれの役割と責任を明確にし、市民が市政に意見を反映できる参画機会の充実を図ります。	
令和7年度における主な事業内容(活動内容)		【コミュニティセンター管理費】(再掲) ・地域振興会の会長で組織される「魚津市自治振興会連合会」と市との意見・情報交換等を役員会・定例会として11回行いました。 ・自治振興会連合会において、コミュニティセンターの指定管理者制度導入を見据え、先進自治体の施設管理運営や地域活動等を学ぶため、高岡市福岡町の福岡地域交流センターへ視察研修を実施しました。 ・コミュニティセンターで勤務する地域振興事務員を地域雇用している地域振興会に対して、事務処理等のサポートを行いました。 ・下中島、上中島及び天神のコミュニティセンターにおいて、LED化工事を行いました。 【うおづまちづくりふれあい講座事業】 ・うおづまちづくりふれあい講座として、「魚津市の防災対策」等の講座を28回開催し、510名が受講しました。 【まちづくり交付金事業】 ・地域が主体的に行う地域コミュニティ活動を支援し、もって市民自治及び市民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、引き続き市内13地区の地域振興会に対して「まちづくり交付金」を交付しました。 【地域拠点施設整備事業】 ・(仮称)上野方地域複合施設(旧上野方小学校敷地内における上野方コミュニティセンター、消防分団詰所及び地域福祉拠点施設の複合施設)の建築工事に着手しました。 ・松倉コミュニティセンター整備事業として、設計業者をプロポーザル方式にて選定のうえ業務委託契約を締結し、設計業務を進めました。 ・上中島コミュニティセンターのもくもくホールへの移転・機能集約(令和8年度～)に向けて、環境整備(倉庫増築、防犯カメラ設置等)を行いました。 ・大町コミュニティセンターの移転・新築に向け、地元と整備方針について協議を進めました。	

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(中間目標値)	12年度(目標値)
魚津市審議会等の委員のうち公募委員の割合	%	1.1	1.1	1.8	2.6	3.4	4.2	5.0	10.0
				1.4	1.5	1.4	2.5	2.8	

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名		事務事業名	令和7年度 予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	うち次年度繰越額(円)	評価結果	担当課
1	予算なし		企画政策課所管助成制度申請事務	0	0	0	0	-	企画政策課
2	一般会計		上中島多目的交流センター管理事務	7,895,094	7,895,094	0	0	-	地域協働課
3	予算なし	○	うおづまちづくりふれあい講座事業	0	0	0	0	A	地域協働課
4	一般会計	○	まちづくり交付金事業(地域振興事業)	85,823,000	80,430,000	5,393,000	0	A	地域協働課
5	一般会計	○	地域拠点施設整備事業	730,040,000	68,352,765	661,687,235	653,400,000	A	地域協働課
6	一般会計		選挙管理委員会事務	487,000	290,280	196,720	0	-	選挙管理委員会事務局
7	一般会計	○	衆議院議員総選挙執行事務	21,334,000	17,680,216	3,653,784	0	B	選挙管理委員会事務局
8	一般会計	○	参議院議員通常選挙執行事務	19,736,000	18,582,707	1,153,293	0	B	選挙管理委員会事務局
9	一般会計	○	コミュニティセンター管理費	(234,051,906)	(220,014,502)	(14,037,404)	(8,000,000)	A	地域協働課
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
合計				865,315,094	193,231,062	672,084,032	653,400,000		

基本事業概要シート②

施策No.	1	施策名	市民参画・協働の推進
基本事業名		②市民協働活動・男女共同参画の推進	
基本事業の目的(意図)		地域振興会による地域課題解決のため協働の主体となる多様な団体への支援を行うとともに、すべての人が互いを認め、尊重し合う社会を形成するため、男女共同参画意識の醸成に努めます。	

令和7年度における主な事業内容(活動内容)

【男女共同参画推進事業】(施策4②、施策27②再掲)
・魚津市男女共同参画推進市民委員会を2回開催し、第4次男女共同参画プランの事業報告と情報交換を行ったほか、新たに策定する第5次男女共同参画プランの素案について、協議を行いました。
・魚津市男女共同参画推進市民委員会での意見等を踏まえ、第5次男女共同参画プランを新たに策定しました。
・男女共同参画地域推進員による定例会・学習会を8回開催したほか、広報誌を1回発行し、全戸配布しました。
・男女共同参画地域推進員の活動として、「アンコンシャスバイアス」への理解と啓発を目的に川柳を募集し、優秀作品を表彰しました。
・男性の育児休業取得率向上を目的とした「男性の育児休業取得促進補助金」制度を引き続き実施し、育児休業取得者46名と事業所14社に対して、各5万円を交付しました。

【NPO・ボランティア活動促進事業】
・市内のNPO・ボランティア団体における情報の把握と共有に努めるとともに、魚津市ボランティアセンター運営委員会においてボランティア活動に係る情報共有を行いました。
・若者を主体とした市民団体等が実施する課題解決事業、関係人口創出事業のほか、若者同士の仲間づくりや交流事業、市の魅力発信事業等に取り組む事業に対し、「若者のまちづくり活動応援事業補助金」を3団体に交付しました。

【市民協働推進事業】
・市と魚津市自治振興会連合会が主催となり、各地域振興会、社会福祉協議会、市内の高校や大学と協働して、「魅力発信！うおづって面白い」をテーマにまちづくりフォーラムを開催し、約300名が参加しました。22団体の活動パネル展示や7団体が活動発表を行ったほか、市の「目指す将来像と現状の取り組み」に関する基調講演を行いました。
・まちづくりフォーラムで展示した活動パネルのうち19団体のパネルを市内ショッピングセンター等(4か所)に掲示し、地域活性化の活動を広く市民へ周知しました。

【住民自治・市民協働推進事業】
・市広報を自治会長宅へ配送するため、随時、折込業者や配送業者と打合せを行い、円滑な配送を行いました。

【コミュニティセンター管理費】(施策1①再掲)
・村木、上中島及び本江のコミュニティセンターについては、令和8年4月からの指定管理者制度移行に向けて、指定の手続等を行いました。(指定期間:令和8年度～令和10年度)

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(中間目標値)	12年度(目標値)
公的な委員会、審議会等の女性委員の比率	%	27.7	27.9	28.0	31.0	34.0	37.0	40.0	40.0
				27.8	27.7	26.7	31.3	30.3	
ボランティア団体・NPO法人の団体数の.人口割合	‰	2.0	1.8	2.0	2.1	2.1	2.1	2.1	2.2
				1.9	1.9	1.9	2.0	2.1	
	団体	85	76	85	85	85	85	85	85
				77	77	77	79	80	

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) −:評価対象外事業)

No.	会計名		事務事業名	令和7年度 予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	うち次年度繰越額(円)	評価結果	担当課
1	一般会計		魚津市表彰事業	771,551	760,301	11,250	0	−	企画政策課
2	一般会計	○	男女共同参画推進事業	3,854,000	3,708,961	145,039	0	B	地域協働課
3	一般会計	○	NPO・ボランティア活動促進事業	1,280,000	589,257	690,743	0	B	地域協働課
4	一般会計	○	市民協働推進事業	454,000	141,692	312,308	0	A	地域協働課
5	一般会計	○	住民自治・市民協働推進事業	3,353,000	3,122,509	230,491	0	B	地域協働課
6	一般会計	○	コミュニティセンター管理費	234,051,906	220,014,502	14,037,404	8,000,000	A	地域協働課
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
合計				243,764,457	228,337,222	15,427,235	8,000,000		

基本事業概要シート③

施策No.	1	施策名	市民参画・協働の推進
基本事業名		③人権の尊重と非核・平和	
基本事業の目的(意図)		人権尊重の理念を普及啓発する活動や人権教育を推進するとともに、人類が恒久に平和であるよう非核・平和に対する意識向上を図ります。	
令和7年度における主な事業内容(活動内容)		【非核・平和事業】 ・市内小中学校での「戦争と平和についてのおはなし会」の開催、市広報等による黙とうの呼びかけ、図書館において子ども達への原爆の被害等を紹介した「サダコと折り鶴ポスター展」の開催など、非核平和の重要性について市民への啓発を図りました。 【人権啓発事業】 ・法務局、人権擁護委員と連携し、小学校での「人権教室」の開催などを通じて人権擁護の啓発を図りました。 ・魚津保護区保護司会と連携し、「社会を明るくする運動」に取り組み、小中学校等での啓発など、犯罪・非行のない安全・安心の社会づくり構築も含め、人権教育に努めました。	

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(中間目標値)	12年度(目標値)
戦争と平和についてのお話会の開催回数	回	1	2	3 7	3 8	3 6	3 7	3 7	5

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) −:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和7年度 予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	うち次年度繰越額(円)	評価結果	担当課
1	一般会計	○ 非核・平和事業	327,000	320,245	6,755	0	A	企画政策課
2	一般会計	○ 人権啓発事業	424,000	403,200	20,800	0	B	市民課
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
合計			751,000	723,445	27,555	0		

施策No.	1	施策名	市民参画・協働の推進

令和7年度の評価結果（基本事業の成果を考慮し記載）

1. 施策（基本事業）の成果水準とその背景
（成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述）

【①市民参画の環境づくり】
◆「審議会等の委員に対する公募委員の割合」は、2.8%（前年度比0.3ポイント増）で、目標値の5.0%を下回っています。
◆「うおづまちづくりふれあい講座」は、令和6年度において能登半島地震の影響により防災対策の講座が大幅に増加したものの、令和7年度においては落ち着きを見せ、全ての講座を合わせて28回（前年度比29回減）実施しています。

【②市民協働活動・男女共同参画の推進】
◆「ボランティア団体・NPO法人登録数」は、80団体（前年度＋1団体）で、目標値の85団体を下回っています。
◆「ボランティア団体・NPO法人の団体数の人口割合」は、2.1‰（前年度比0.1ポイント増）で、目標値である2.1‰と同値になっています。
◆「公的な委員会、審議会等の女性委員の比率」は、30..3%（前年度比1.0ポイント減）で、目標値の40.0%を下回っています。

【③人権の尊重と非核・平和】
◆「戦争と平和についてのお話し会の開催回数」は、7回となっており、目標値の3回を上回っています。

2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み（事務事業）の総括
（令和7年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述）

【①市民参画の環境づくり】
＜コミュニティセンター管理費＞
◆13地区の地域振興会と、令和7年4月1日に施行した魚津市地域振興会組織条例及びコミュニティセンターへの指定管理者制度の導入について意見交換を行い、地域振興会の組織の位置付けや役割に対する理解を深めるとともに、指定管理者制度導入に向けた意識の醸成が図られました。
＜まちづくり交付金事業＞
◆まちづくり交付金事業について、公民館のコミュニティセンター化を契機とした地域づくり活動への更なる支援のため、上乗せ応援加算として交付金を増額のうえ交付したことにより、地域振興会の主体的かつ創意工夫を凝らした地域活動の推進につながりました。
◆各地区の運動会や敬老会といった行事をはじめ、地域の特色を活かしたイベント（片貝山の上マルシェ ※大町VS村木綱引き合戦は雨で中止）が開催されたほか、片貝地区において、まちづくり交付金を活用し、今後の地域づくりの指針となる「片貝まちづくり計画」が策定されました。
＜地域拠点施設整備事業＞
◆令和8年8月からの供用開始に向けて、（仮称）上野方地域複合施設（旧上野方小学校敷地内における上野方コミュニティセンター、消防分団詰所及び地域福祉拠点施設の複合施設）の整備を進めました。
◆松倉コミュニティセンターの建替えに向け、業務委託による実施設計を行い、令和8年度の建設工事に向けた諸準備が整いました。
◆上中島コミュニティセンターのもくもくホールへの移転・機能集約に向けて環境整備を行い、令和8年度からの供用開始に向けた諸準備が整いました。
◆大町コミュニティセンターの移転・新築に向け、地元とともに整備方針について協議を進め、より良いコミセン整備に向けた機運が高まりました。

【②市民協働活動・男女共同参画の推進】
＜男女共同参画推進事業＞
◆男女共同参画地域推進員による各種活動を通じて、市民の男女共同参画意識の高揚が図られました。
＜NPO・ボランティア団体促進事業＞
◆若者のまちづくり活動応援事業では、3団体を採択し、事業を実施しました。事業を実施した魚津高校、魚津工業高校、星槎国際高校では、フィールドワークを通した地域課題解決策の提案、ものづくり体験会の開催、地場産食材を活用した食品開発・販売等を行い、地域資源の活用や市の魅力発信につながりました。
＜市民協働推進事業＞
◆魚津市自治基本条例が目指す市民が主体となった自治の実現に向けて開催するまちづくりフォーラムにおいて、各種団体による活動報告や各地域における特色ある取組の紹介等が行われ、市民と市が協働してまちづくりを進める意識の醸成が図られました。

【③人権の尊重と非核平和】
＜人権啓発事業＞
◆人権擁護委員による人権相談や啓発活動、保護司会を中心とした社会を明るくする運動等の活動を行うことにより、人権に対する意識啓発を促しました。

3. 施策の課題認識及び取り組み状況
（前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述）

【①市民参画の環境づくり】
◆（仮称）上野方地域複合施設整備については、令和8年8月からの供用開始に向けて着実に事業を進めるほか、上野方地域振興会や魚津市社会福祉協議会とともに、複合施設を拠点とした地域づくりに向けて協議を進めていきます。
◆松倉コミュニティセンターの建替えについては、令和9年度供用開始に向けて、地元と連携しながら計画的に進めていきます。
◆大町コミュニティセンターの移転・新築に向け、引き続き地元と協議しながら計画的に進めていきます。
◆まちづくり交付金の「上乗せ応援加算枠」を継続して設けるなど、地域の自主性及び特性を活かした活動をさらに支援していきます。
◆コミュニティセンターへの指定管理者制度導入に向け、地域の皆様にその目的や期待される効果について理解を深めていただけるよう、引き続き周知に努めます。
◆人口減少に伴う地域役員等の担い手不足が顕在化してきていることから、持続可能な地域活動に向けて検討していく必要があります。
◆自治振興会連合会では、先進的事例を学ぶ視察研修を通じて、各地域の指定管理制度導入やコミュニティビジネスへの取組など、各地域振興会等における今後の方向性を検討していきます。

【②市民協働活動・男女共同参画の推進】
◆市民等と市が協働して地域課題の解決や若者同士の交流事業等への取組に対する補助事業「ともにつくるまち促進事業」及び「若者のまちづくり活動応援事業」について、より利用しやすい制度へと見直しを行うとともに、制度の周知を図り、市民が主体となったまちづくりを進めていく必要があります。
◆男女共同参画地域推進員の各種活動や「男性の育児休業取得促進補助金」の実施を通じ、市民や事業所へ男女共同参画の必要性や重要性について周知を図っていく必要があります。
◆新たに策定した第5次魚津市男女共同参画プランの周知に努めるとともに、「魚津市男女共同参画推進市民委員会」において、現状の把握と実施状況を報告し、意見を求めていきます。
◆公的な委員会、審議会等の女性委員の比率は徐々に増えているものの目標値には届いておらず、職員をはじめ市民の意識改革に取り組む必要があります。

【③人権の尊重と非核・平和】
◆人権に関する相談は、DVやいじめといった関係部署との連携が欠かせない事例が多いため、今後も関係部署と情報共有を行い、支援体制強化に努めます。
◆性の多様性について、市ホームページや広報紙等により情報提供し、市民の理解を深めていきます。